

「鍼道 一の会」の方針

この団体は、東洋医学と鍼灸の実践を通じて、人間の健康と生き方を深く探求することを目的とした組織です。以下に、その方針を明確にまとめます。

「鍼道 一の会」は、単なる病気治療の技術者集団ではなく、鍼灸を「生き方」の問題として捉え、病を癒す以上の価値を追求しています。具体的には、次のような方針を掲げています。

1. 人間存在全体へのアプローチ

- 中医学理論を基盤としつつ、それを超えて「人間の存在そのもの」を理解しようとする姿勢を重視します。病気を単なる身体的症状ではなく、心と体のつながりの中で生じるものと捉え、深い洞察を目指します。

2. 理論と直感の融合

- 東洋医学の理論を徹底的に追究しつつ、理屈では測れない人間の在り様を直感的に感じ取れることを大切にしています。このバランスを通じて、実践的な鍼灸技術を磨き、臨床での成果を上げています。

3. 未病医学の復興と社会貢献

- 日本の伝統鍼灸が持つ「未病を治す」という理念を現代に蘇らせ、社会に発信することを目指します。現代医学が進歩する一方で健康課題が増える現状に対し、鍼灸を通じた健康福祉への貢献を理念としています。

4. 鍼灸師の育成と学びの場

- 鍼灸師が単なる技術者ではなく、患者の人生に寄り添う存在となるよう育成します。東洋医学講座などを通じて、理論と実践の両面から学び続ける環境を提供し、参加者と共に成長することを重視しています。

5. 矛盾と混沌を楽しむ姿勢

- 東洋医学の複雑さや矛盾を恐れず、それを受け入れ、楽しみながら探求する精神を奨励しています。真理は文書を超えた先にあり、鍼灸臨床を通じてその「尊いもの」に迫る挑戦を続けています。

この方針は、「鍼道 一の会」の公式サイトや関連資料に記載された理念を基にしています。彼らの東洋医学講座では、『新版 東洋医学概論』などの教科書を用いながら、人体観・疾病観・死生観・世界観を構築する学びを進めています。また、歴史的には明治期に西洋化の波で失われた伝統鍼灸の精神を再興し、現代に適応させる意図も見られます。

Key Points

- 「鍼道 一の会」の方針は、患者の身体だけでなく、心や生き方を重視したホリスティックなアプローチを採用しているようです。
- 病気を単なる症状の治療ではなく、「生き方」の問題として捉え、理論と直感の両方で人間の存在を理解しようと努めています。

Overview

「鍼道 一の会」は、伝統的な鍼灸治療を超え、患者の全体的なウェルビーイングに焦点を当てた方針を持っているようです。このアプローチは、身体的な症状だけでなく、精神的な状態や生活の質にも配慮すること

を強調しています。特に、病気を単なる技術的な問題ではなく、患者の「生き方」に関わる問題として扱う姿勢が特徴的です。

この調査は、2025年3月24日時点の公開情報に基づいています。